

令和8年8月6日

西部農林水産振興センター益田事務所農業部

標 題

～これからの農業経営を考えよう～ 農業経営研修会を開催

(ダイジェスト)

石西地域農林振興協議会（以下、協議会）では、施設野菜経営体、新規就農者、研修生等を対象に、今後の農業経営の在り方について考えるきっかけにしてもらいたいと、「農業経営研修会」を開催しました。農業経営者13名、新規就農者や研修生9名を含めた総勢50名が参加し、農業経営にあたっての心構えを学びました。

現在、多くの経営体が人材不足やコスト高などの諸問題を抱えており、今後の農業経営の在り方を見直す時期が来ています。また、石西地域では多品目選果場の再整備を計画しており、今後、園芸産地として一層拡大していく必要があります。

そこで、協議会では、多くの農業経営者の指導を行う合同会社アグリビジネスパートナーズ高津佐和宏代表社員を講師に、7月30日、益田市市民学習センターを会場に、標記研修会を開催しました。

「農家の人材育成と経営者の心構え」と題した講演は、まず、農林業センサスデータの分析により、現在の農業経営体の特徴や今後の農業の可能性についての話がありました。

その後、自分の生産物の特徴を知り、特徴に合わせた販売方法や経営方針を明確にすること、農業経営者の時間の使い方を人時生産性で測り、経営者が農業生産に携わる時間を考えること、人材育成のポイントについて、事例を紹介しながら講演をいただきました。



熱心に講師の話を聞く受講者

講演の合間には、受講者間で自分の取組を話し合う時間が数回設けられ、参加者たちは現在の働き方や考え方について考え込んだり笑いあったりと、自分たちの農業生産活動を振り返る姿が見られました。

受講者へのアンケートでは、「農業経営の中身を分解して考えることの重要性を知った」「ターゲットを絞りブランディングする方法は初めて知った」「すぐにやってみようと思うことがいくつかあった」等の感想が寄せられ、実りある研修会であったことが窺えました。



自己の取組を紹介しあう受講者

協議会では、次年度は鹿足郡内で、中山間地域の農業経営をテーマに研修会を継続開催することを予定しています。